

平成25年度 土木建築部当初予算(一般会計)要求の概要

(単位:千円)

区 分	25年度当初要求額	24年度当初予算額	増減額	増減率
事業費	76,142,810	79,093,903	2,951,093	3.7%
うち公共事業	54,849,428	58,243,417	3,393,989	5.8%

要求のポイント

1 危機管理の強化(防災力・防災機能の強化)

【基本方針】

梅雨前線豪雨災害の復旧・復興と災害に強い社会資本整備を推進するため、浸水被害・土砂災害対策や施設整備等の防災対策にハード・ソフト両面から積極的に取り組みます。

(1) 災害に強い県土づくりの推進

- ・九州北部豪雨や豊肥大水害等、近年多発する甚大な浸水被害に備えるため、玉来ダムの早期整備を推進します。
- ・河川・海岸事業や砂防事業など防災・減災のためのハード・ソフト対策を確実に推進します。
- ・救助活動支援や復旧・復興のための緊急輸送道路ネットワークの確保並びに通行止めによる集落の孤立化を防ぐため、道路改良や橋梁耐震化、道路のり面の崩壊対策を引き続き推進します。
- ・災害時の復旧活動の拠点となる県庁舎等の耐震化を推進します。
- ・大規模地震など、自然災害時の被害軽減に向けて、民間木造住宅の耐震化を促進します。
- ・土木施設の異常など、県民からの通報にただちに対応できる体制を充実させます。

2 交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進

【基本方針】

地域間の連携・交流、物流効率化、交通円滑化を図り、地域の発展を支えるため、道路や港湾などの社会資本の整備を推進します。

(1) 広域交通網の整備推進

- ・大分県中長期道路整備計画「おおいたの道構想21」により、国・県道の整備を着実に進めていきます。特に、東九州自動車道の早期供用に向けた取り組みを促進するとともに、中九州横断道路や中津日田道路、庄の原佐野線など広域交通網の着実な整備を推進します。
- ・中津港や別府港など重要港湾の整備を推進し、陸海一体となった広域交通網を整備します。

(2) 地域生活交通システムの形成

- ・快適で人にやさしい都市づくりのため、大分都市圏の総合的な交通施策の推進に向けた交通実態調査を実施します。
- ・地域の暮らしを支える道路整備のため、1.5車線の道路整備、既存道路敷を活用した路肩拡幅や側溝整備、通学路の安全対策等を、コストとスピードの両立により推進し、県民ニーズに応じた生活道路の利便性・安全性の向上を図ります。

事業体系（県政推進指針）

【安心・活力・発展の大分県づくりの推進】

1 安心 - 互いに助け合い、支え合う安心・安全の大分県 -

(6)安全・安心な暮らしの確立

安全で快適な交通社会の実現

┌──	(公) 地域活力基盤交通安全事業	3,455,374
└──	(単) 交通安全事業	1,203,500

(9)危機管理の強化(防災力・防災機能の強化)

災害に強い県土づくりの推進

┌──	新 暮らしを支える社会基盤保全事業	72,000
┌──	(公) 地域活力基盤橋梁補修事業	1,404,188
┌──	(単) 橋梁補修事業	1,155,000
┌──	(公) 広域河川改修事業	1,523,919
┌──	(公) 治水ダム建設事業	830,000
┌──	河川海岸調査費	67,647
┌──	(単) 河川海岸改良事業	1,000,000
┌──	(単) 緊急河床掘削事業	250,000
┌──	新 地震・津波対策海岸計画策定事業	60,300
┌──	新 (公) 特定緊急砂防事業	266,492
┌──	(単) 砂防改修事業	309,749
┌──	(公) 急傾斜地崩壊対策事業	1,445,864
┌──	(単) 急傾斜地崩壊対策事業	430,000
┌──	新 大分スポーツ公園総合競技場設備改修事業	483,494
┌──	木造住宅耐震化促進事業	39,660
┌──	おおいた安心住まい改修支援事業	55,000
┌──	県有建築物防災対策推進事業	589,275

3 発展 - 人を育て、社会資本を整え、発展する大分県 -

(4)交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進

広域交通網の整備推進

┌──	(公) 道路改良事業	4,189,409
┌──	(公) 地域活力基盤道路改良事業	11,148,942
┌──	(公) 国直轄港湾事業負担金	758,188
┌──	(公) 都市計画街路事業	2,762,878
┌──	(公) 連続立体交差事業	531,480
┌──	(公) 国直轄高速道路事業負担金	2,900,000

地域生活交通システムの形成

┌──	新 (単) 身近な道改善事業	600,000
┌──	(単) 道路改良事業	4,075,080
┌──	新 大分都市圏総合都市交通対策推進事業	120,000

(注) 事業名前の「新」は新規事業を示す。

平成25年度 土木建築部当初予算(一般会計)要求に対するご意見をお寄せください。

e-mail: a17000@pref.oita.lg.jp (土木建築部土木建築企画課)

平成25年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：土木建築部）

（単位：千円）

事業名	平成25年度 当初要求額 〔平成24年度 当初予算額〕	事業概要	所管課
1 (単) 交通安全事業	1,203,500 (1,003,500)	豪雨や地震等の大規模災害に備え、緊急輸送道路の防災対策を進めるとともに、生活道路の通行止めによる集落の孤立化を防ぐため道路法面の崩壊・落石対策等を実施する。	道路保全整備室
2 (新) 暮らしを支える社会基盤 保全事業	72,000 (0)	土木施設の異常の発見など、県民からの通報にただちに対応できる体制の充実を図るとともに、緊急時に必要な資材を事前に確保することにより、土木事務所の地域の防災センターとしての機能を強化する。	建設政策課
3 (単) 橋梁補修事業	1,155,000 (1,155,000)	東南海・南海地震などの大規模地震時の緊急輸送を確保するため橋梁の耐震補強を促進するとともに、老朽橋梁の更新時期を平準化するため、橋梁長寿命化維持管理計画に基づき、橋梁の計画的補修を実施する。	道路保全整備室
4 (公) 広域河川改修事業	1,523,919 (1,343,845)	県管理河川において、洪水による被害を防止するため、河川改修を実施する。特に、平成24年の梅雨前線豪雨により甚大な被害を受けた有田川、山国川の河川改修を推進する。	河川課
5 (公) 治水ダム建設事業	830,000 (1,230,000)	平成24年の梅雨前線豪雨で大きな被害を受けた竹田市の治水安全性を向上させるため、玉来ダムに係る用地取得を推進し、早期の本体着工に向けた準備を進める。	河川課
6 (単) 河川海岸改良事業	1,000,000 (591,050)	国庫補助事業の対象とならない河川の治水安全性を向上させるため、局部的な改修及び維持・修繕工事を実施する。特に、平成24年の梅雨前線豪雨に伴う被災箇所の河床掘削、護岸工を推進する。	河川課
7 (単) 緊急河床掘削事業	250,000 (250,000)	河川周辺住民の安全を確保するため、浸水被害の発生した箇所を中心として河床に堆積した土砂を取り除き、河川の流下能力の改善を図る。	河川課
8 (特) 地震・津波対策海岸計画 策定事業	60,300 (0)	地震・津波に対応した堤防等の海岸保全施設の整備を推進するため、大分県海岸保全基本計画の改訂を行う。	港湾課
9 (新) (公) 特定緊急砂防事業	266,492 (0)	平成24年の梅雨前線豪雨により発生した土石流で家屋等が被害を受けた地域において、緊急的に砂防ダムの整備を行う。	砂防課
10 (単) 砂防改修事業	309,749 (99,000)	国庫補助事業の対象とならない流域において、平成24年の梅雨前線豪雨等により被災した箇所をはじめとする危険箇所の砂防ダム整備や溪流保全工を実施する。	砂防課

平成25年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：土木建築部）

（単位：千円）

事業名	平成25年度 当初要求額 〔平成24年度 当初予算額〕	事業概要	所管課
11 （単）急傾斜地崩壊対策事業	430,000 (423,200)	国庫補助事業の対象とならない急傾斜地において、平成24年の梅雨前線豪雨等により被災した箇所をはじめとする危険箇所の擁壁工や法面対策工を実施するとともに、市町村事業に対し助成する。	砂防課
12 新 大分スポーツ公園総合競技場設備改修事業	483,494 (0)	大分スポーツ公園総合競技場の可動屋根設備の老朽化に伴い、設備を改修する。	公園・生活排水課
13 おおいた安心住まい改修支援事業	55,000 (101,250)	高齢者の暮らしの安心確保や子育て世帯の住環境の向上を図るため、住宅改修に要する経費に対し助成する。	建築住宅課
14 県有建築物防災対策推進事業	589,275 (226,230)	県庁舎（本館）の耐震改修工事を行うとともに、地方庁舎等の非常用電源増設等、防災対策を強化する。	施設整備課
15 （公）道路改良事業	4,189,409 (4,098,265)	道路の改良や線形・勾配等の不良箇所の解消、橋梁の新設等を実施するとともに、歩道・自転車歩行者道等を整備する。 特に、高規格幹線道路を補完し、循環型高速交通ネットワークの形成を図るため、地域高規格道路中津日田道路の整備を行う。	道路課
16 （公）地域活力基盤道路改良事業	11,148,942 (14,146,699)	産業や地域の振興等のため社会資本整備総合交付金等を活用し、線形不良や幅員狭小箇所などの道路改良工事を実施し、県内の道路ネットワークを整備する。	道路課
17 （公）都市計画街路事業	2,762,878 (2,560,858)	慢性的な交通渋滞を解消するため、地域高規格道路（大分中央幹線道路）である庄の原佐野線を計画的に整備する。	都市計画課
18 （公）国直轄高速道路事業負担金	2,900,000 (2,592,500)	東九州自動車道（佐伯～県境間）の整備に係る用地買収や本工事等の経費を負担する。	高速道対策局
19 新 （単）身近な道改善事業	600,000 (0)	生活道路の安全性・利便性を低コストかつ短期間で確保するため路肩拡幅や側溝の蓋掛け、小規模な舗装補修、通学路の安全対策など住民に身近な道路の改善工事を実施する。	道路保全整備室
20 （単）道路改良事業	4,075,080 (4,958,000)	県単独事業として、県内の道路ネットワークを整備する。	道路課

平成25年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：土木建築部）

（単位：千円）

事業名	平成25年度 当初要求額 〔平成24年度 当初予算額〕	事業概要	所管課
21 特 大分都市圏総合都市交通 対策推進事業	120,000 (0)	急速に進行する高齢化社会への対応に向けて、過度に車に依存せず、快適で人にやさしい都市づくりを目指すため、大分都市圏の総合的な交通施策の推進に向けた交通実態調査を実施する。	都市計画課

（新）は「新規事業」、（特）は「おおいたプラン加速枠事業」

平成 2 5 年度 当初予算（一般会計）要求における廃止事業

（部局名：土木建築部）

（単位：千円）

所管課	事業名	廃止理由	24年度 当初予算額
1 建設政策課	安全・安心な地域づくりサポート事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22～24年度の3か年事業として実施 ・事業効果を検証し、組み替えて要求 	72,000
2 道路保全整備室	道路愛護ボランティアサポート事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19～24年度の6か年事業として実施 ・事業効果を検証し、組み替えて要求 	16,000
3 道路保全整備室	暮らしの道再生事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23～24年度の2か年事業として実施 ・事業効果を検証し、組み替えて要求 	800,000
4 河川課	きれいな川づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20～24年度の5か年事業として実施 ・事業効果を検証し、組み替えて要求 	5,935
5 砂防課	火山被害想定図作成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23～24年度の2か年事業として実施 ・事業目的が達成されたため廃止 	3,662
6 砂防課	土砂災害警戒区域等指定促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度の単年度事業として実施 ・事業効果を検証し、組み替えて要求 	15,095
7 建築住宅課	民間建築物アスベスト対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22～24年度の3か年事業として実施 ・県内民間建築物のアスベスト使用状況を把握するためのデータベース作成を終了したため廃止 	20,228